

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	5 章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち（産業・経済の活性化）			
	施策（大柱）	6 節 労働環境	H20 実施計画事業費合計	77,621 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 雇用対策の推進		3,467 千円	
		2 勤労者福祉の推進		72,768 千円	
		3 労働環境の向上		1,386 千円	
				千円	
			千円		
施策に関係する所属	商工労働課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○求職者への雇用の確保、拡大に取り組むとともに、就労支援を進める。 ○中小企業の勤労者福祉を充実する。 ○労働条件や労働環境の向上に取り組む。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	○雇用対策の推進 就職希望者に対する、技術や知識の習得、資格の取得を目的とした講習会の開催などにより、就労支援の充実を図る。また、公共職業安定所などの関連機関と連携しながら雇用の奨励を図るとともに、内職相談の充実を図る。○勤労者福祉の推進 所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営を支援すると共に、事業所が実施する福利厚生事業の支援を行う。さらに、勤労者貸付制度の利便性の向上や勤労者学習活動等の支援を図る。○労働環境の向上 労働条件等の改善や労使双方で抱える問題を解決するため、労働相談の充実を図る
3) 分野別計画、指針	

② 施策の概要	4) 関連・類似施策				
	○3-2児童福祉 ○3-3高齢者福祉 ○3-4障害福祉 ○5-2商業 ○5-3工業 ○7-4男女共同参画社会				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
6) 施策に係る基礎数値					
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	生産年齢人口（15～64歳）	人	237,368	236,757	232,993
	〃 率	%	70.5	69.7	68.5
	内職あつ旋者数	人	86	98	77
	勤労者福祉サービスセンター会員数	人	1,660	1,564	1,407
	中小企業退職金共済掛金等補助事業所数	所	69	83	89

③ 優先的に取り組む事業	事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。								

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
	【5年後の目標】有効求人倍率	市内の雇用状況を測る指標	倍	年度	目標値	1.19	1.39	1.59	1.79	2.00	年度	
				16	実績値	1.03	1.08			実績値の拡大を目指す1	1	目標値
				%	0.78	達成率	86.6%	77.7%			実績値の縮小を目指す2	1
	【5年後の目標】内職希望者への斡旋率	労働対策への取組状況を示す指標	%	年度	目標値	63.3	65.0	66.7	68.3	70.0	年度	
				16	実績値	53.0	40.0			実績値の拡大を目指す1	1	目標値
				%	60.0	達成率	83.7%	61.5%			実績値の縮小を目指す2	1
	勤労者福祉サービスセンター会員1人当たり利用額	サービスセンターの利用状況を示す指標	円	年度	目標値	30,286	31,465	32,643	33,822	35,000	年度	
				17	実績値	35,777	46,633			実績値の拡大を目指す1	1	目標値
				%	29,108	達成率	118.1%	148.2%			実績値の縮小を目指す2	1
	労働教養講座受講者数	労働教養講座の利用状況を示す指標	人	年度	目標値	193	207	222	236	250	年度	
				17	実績値	185	237			実績値の拡大を目指す1	1	目標値
%				179	達成率	95.8%	114.5%			実績値の縮小を目指す2	1	250

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

就業援助技能講座においては、一部を雇用・能力開発機構との共催とし、講師謝礼の節減を図った。内職相談においては、内職者を必要とする事業所を積極的に訪問し、内職業務の開拓を行った。ラーク所沢の管理運営を2期目の指定管理者に任せ、経費の節減を図った。事業所従業員定期健康診断補助においては、広くいきわたるように補助額を2,000円に減額した。

⑥ 評価（課題及び目標）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員数が漸減傾向にある。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input checked="" type="checkbox"/> 悪化傾向
	中小企業退職金共済掛金等補助事業所数に伸びが見られるが、適格退職年金制度により移行してくる事業所が多い。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	労働安全衛生講習会の受講者が増加傾向にある。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向	
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向	

⑥ 評価（課題及び目標）	2) 平成20年度における目標設定	達成水準（どこまで）		時期（いつまで）
	今期目標項目（何を）			
	ラーク所沢修繕等事業	ラーク所沢修繕等事業を完了させる。		平成21年3月末日

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

「所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンター」事業は、中小企業に勤務する勤労者とその事業主の福祉向上を図るとともに、地域の中小企業の振興と雇用の安定、併せて地域社会の活性化に寄与することを目的としている。当市の事業者は、そのほとんどが中小企業であり、中小企業者が単独で福利厚生制度を充実させていくことは大変難しいことから、中小企業者が連携して運営する「勤労者福祉サービスセンター」は、大いに意義を有するものである。しかしながら、近年、会員数が減少傾向にある。会費は組織を支える重要な財源であることから、加入促進を行い会員数を確保することにより健全な運営が継続出来るよう市として支援していく。

また、若年失業者は社会的な問題となっているため、県等と協働して各種セミナーを開催し、若年失業者の就職支援を行っていく。

評価日 平成20年8月5日 記入者職氏名 市民経済部次長 仲 志津江